

釣りバカ入門

釣れてる、釣れない

※ノーフィッシュ…魚が一尾も釣れていない状態

元来は狩猟の方法として発達してきた魚釣りも、現在では世界中で愛されているスポーツです。今回はそんな世界中の人々を魅了してやまない魚釣りについて紹介しようと思うのですが、このような場を使つてわざわざ魚釣り紹介をする理由としては、**私自身、釣りが好きである**という事に他なりません！満を持して、この私“**ノーフィッシュ今井**”と今井恵介が、「ブラックバス」という魚を釣る楽しさをご紹介したいと思います。「釣りなんて全くした事がない」という方も「我こそは釣りバカである」という方も、しばしの間釣り談義にお付き合い頂ければと思います。

奥深き、魚釣りの世界。



滋賀県奥琵琶湖にてオカッパリを楽しむ様子
—上記のように船に乗らずに、陸から魚釣りをする事を『オカッパリ』と言います。このように釣りをするうえで登場する専門用語には、独自に発展を遂げたユニークな言葉が多く登場します。

ブラックバス＝ルアー

ルアーの種類の多さ、釣り方の多様さも、他の魚種の釣りとは比べると非常に多いという点が、バス釣りの楽しみの一つです。

バスが釣れる時には必ず理由があります。時間帯、気温、気圧、風向き…挙げていけばざりがありますが、魚には釣れる条件があります。その条件を満たした釣り方（ルアー）＝解答でアプローチした時、魚は釣れます。この**解答**にたどり着くプロセスこそが、ゲーム性の高さと人気を誇るバスフィッシングの魅力の一つと言えるでしょう。



“解答”にたどり着くための様々なタイプのルアー
極端に言ってしまうと無限に存在する条件を、細分化し、その解答に最も効率よくたどり着く為に開発されてきたルアーや釣り具たち。その個性と機能性の先で手に入れた“美しさ”は、飾っておくだけでも部屋の景観に彩を与え、観る者を満足させてくれます。

好みの話。

釣り人にはそれぞれで好きな釣り方があり、それぞれの個性で魚を釣ることが、他の釣り人とのコミュニケーションも深めます。決して内向的なスポーツではない、という部分も釣りの素晴らしい一面でもあります。私の好きな釣り方は何だろう…そう考え、改めて自分の釣り具を見ると、圧倒的に所有数の多いルアーがあります。クランクベイトです！巻物好きな私は、このルアーの所持数が自然と増えていたようです。



所有のクランクベイトたち。使い込むことで針が当たって付く傷をフックマークといいまうに思えます。



コチラも上のルアーとは泳ぎ方の少し違う、バイブレーションという種類。別称“リッププレス・クランク”。巻物系が好きなのです。

ナンダカンダ言ってきましたが、どうやら私は釣り方に結構こだわるタイプのようです。結果として釣れなくても釣りをしているだけで楽しいのですが、一向に上達しません！ノーフィッシュ今井、現在師匠募集中です！

釣りバカなら、忘れちゃいけない。

環境問題・マナーと向き合う

自然のフィールドで釣りを楽しむ以上、その場を汚す・環境を変えてしまうリスクと常に表裏一体にあります。現存する自然環境の中でこそ、我々は素晴らしい時間を過ごせるという事実が根底にあります。それを認識した上で、（特にブラックバスに関しては外来生物問題などが取り沙汰されているように）全てを周りの情報に流されるのではなく、自らが考え、行動を選択していく事が必要なのではないでしょうか。

秋深き
となりは
何をすゐんぞ

天竺店告

発行者 岡崎淳一 矢田渚 近藤宏樹
今井恵介 山田あかね

マラソンをすゐんぞ・・・矢田渚
料理をすゐんぞ・・・山田あかね
旅行をすゐんぞ・・・岡崎淳一
釣りをすゐんぞ・・・今井恵介

TENKU
NEWS
LETTER
vol.18

